

ひのカメカメごっくん大作戦協議会（平成 30 年度～令和 3 年度）の取り組みと今後について

1. これまでの取り組み

協議会では、摂食嚥下機能低下にかかわる専門職間の連携システムの構築と、機能低下への「気づき」を中心とした市民への周知啓発、すでに機能低下がある方への支援体制の整理に重点をおいて取り組みを行った。

課題	取り組み
①周知・啓発 ・機能低下に本人や家族が気づいていない ・摂食嚥下機能の正しい知識や情報不足	・講演会実施（医療関係者・介護施設関係者・市民向け等） ・ポスターや薬局ステッカー等作成 ・パンフレット、動画（DVD）の作成・貸出 ・介護予防教室等での健康教育 ・広報、パネル展示など定期的な啓発
②連携システム ・摂食嚥下機能で困っている人を支える仕組みがない	・システム検討、アセスメントシート作成 ・摂食嚥下機能に関する市内の診療体制を整え、連携システム運用により適切な支援につないだ ・研修実施（ケアマネジャー、包括等）
③食形態 ・摂食嚥下機能に適した食事がとれていない。	・食形態情報調査、多職種連携ガイド掲載 ・「食べるを支える」のリンク ・多職種連携ガイド更新

2. 今後の方向性

協議会での取り組みにより多職種間の連携体制が構築され、摂食嚥下機能低下を意識したアセスメントや事業展開が図れるようになった。令和 4 年度以降は、協議会を終了し下記の方向性で摂食嚥下推進事業を各種事業に汎化させていく。

■ 今後の方向性イメージ

